学級会話合いのコツ

チェックしよう

よりより参加者のコツ

□　**質問や賛成意見から出し合うようにする。**

□　提案理由をふまえて、よりよい考えはどれか賛成を出す

□　反対意見の場合は、自分はどれがよいか**代案を考えておく。**

□　**反対意見の真意を**よく聞き、それらを**生かす方法はないかみんなで考える**ようにする。

□　意見の付け足しや質問して、分からないことははっきりさせる。友達の意見を生かした話合いにする。

□　“自分もよくみんなもよい”と思えることを　　　　　「折り合いをつけて」話し合えるようにします。

□　提案者の**気持ち**や**提案理由**を考えた意見を出す。

□　**理由**を加えて発表できるようにする。

□　意見が対立している場合は、みんなの同意を得て、集団決定をする。

□　自分の意見に決まらなかった友達がいることも心配りをし、話合いに役に立っていることを忘れない。

みんなが（司会に提案もOK）

・意見を合わせる

・いくつの意見のよいところを取り入れながら、新しい考えをつくる。

・それぞれを少しずつ全部行うことにする。

・優先順位を付けて上位の考えに決める。（次回はA、今回はB）

司会グループのコツ

❶賛成反対意見の述べ合い

❷少数意見を

生かす話合い

❸創意工夫の

知恵の述べ合い

❹折り合いを

付ける

❶反対意見に「あなたはどれがいいと思いますか。」

❷「Aさんの意見を生かす工夫や意見を出してください。」

❸「○○の意見をよりよくするアイデアを出してください」

❹「自分もよく、みんなもよいと思える意見や工夫を出してください。」

ちょっと立ち止まって

**①何のためにするのか？何のために話し合うの？**

**②いつ、どこで、何を、どのようにするか？**

**③**どうすればみんな意見が１つにまとめられる？

・「Aという意見が多いのでAに決めて良いですか。」

・「AとBの意見を合わせてCという考えに決めて良いですか。」

・「意見が出尽くしたので、そろそろ決めてもよいですか。」

**自分もよく、みんなもよいと思える**

**みんなの意見は、どれか考える**

一人一人が

□　自分の考えを変え、異なる意見にする。

（友達の考えのよさに気付いたら、自分の考えを変えてもよい。）

□　条件を付けて賛成する。

□　どうすれば話合いがまとまるか考える。